

広報

かわごえ環境ネット

2023年9・10月号 No.193

『川越まつり』は、正式には「川越氷川祭の山車行事」として氷川神社で執行される「例大祭」「神幸祭」、市街地で開催される「山車行事(祭礼)」によって成り立っていて、今年は10月14日(土)・15日(日)の開催です。かわごえ環境ネットでは、2019年まで「川越まつり会場クリーン活動」を行っていましたが、今年は10月7日(土)に「川越まつり会場事前クリーン活動」として実施します。ご参加ください。(小瀬博之)

2:【報告】かすみがせききた環境対話カフェ(第2回、7月9日開催)

夏の郊外クリーン活動(7月17日開催)

3:【報告】社寺林の観察会・キノコの観察会・虫の観察会

川越市環境計画見直し意見交換会(第1回、7月26日開催)

4:【コラム】社会と環境について思うこと(25)いのちと環境~7代先を考えると~

自然を訪ねて(11)時の草 ヤマトグサとの出会い

5:【募集】川越まつり会場事前クリーン活動/2023森フェス in 川越/

アースデイ川越 in 昭和の街 2023

6:かわごえ環境ネットからのお知らせ

7:会員からのお知らせ

8:イベントカレンダー(2023年9月1日~10月31日)

残したい川越の風景(11) 川越まつり(2022年10月15日撮影)

【報告】かすみがせききた環境対話カフェ（第2回、7月9日開催）

開催趣旨

7月9日（日）に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネット共催の第2回「かすみがせききた環境対話カフェ」を実施しました。地域環境対話活動とする本イベントは全4回で構成されており、今回は「歩いてみよう！霞ヶ関北まち歩き」、実際に自分たちの住んでいる地域を歩き、環境について参加者同士、意見を交わしました。参加者は15名、見学者は3名でした。

第2回実施結果

当日、雨がぱらついていたので、急きよ予定を変更して、はじめは室内で前回の振り返り、そしてまち歩きで使用する資料を見ながら、グループ対話を行いました。

その後、予報通り雨が止んだところで、1時間程度まち歩きをしました。まずは霞ヶ関北の大きな特徴の1つである「小畔川」に沿って歩きました。どん

なごみが多いのかを観察したり、川に詳しい参加者の方がいて盛り上がり、もっと地域で活用できないか、という意見が出たりしました。そこから「かほく運動公園」、児童遊園の特有の並び方を見て、「角栄商店街」、住宅街にあるソーラーパネルや空き家の様子を見るなどして、参加者それぞれの視点から意見を交わしてまち歩きを終えました。

参加された方からは「人の住まない家が手入れされずに放置されているのを見て、対応が必要と感じました。」「長年住まれた方のこの地区の話を知ることができとてもよかった。」「みなさんが気を付けて周りの掃除をしているのだとつくづく感じた。」などの感想がありました。

第3回の予定

9月10日（日）のかすみがせききた環境対話カフェは「考えてみよう！気候変動アクション」を実施予定です。第1回、

第2回の経験を元に、個人でできること、地域でできることをグループ対話を通して考えていきます。

（小川夕子）



小畔川沿いを歩く



住宅街を歩く

グループ対話の様子

【報告】夏の郊外クリーン活動（7月17日開催、社会環境部会）



活動開始前の参加者集合写真

海の日7月17日（月）、猛烈な暑さの中、時間を短縮してクリーン活動を行いました。

開催経過

9:30に川越市民聖苑やすらぎのさと駐車場に集合した参加者は39名。参加者は、市民、かわごえ環境ネット会員、武州ガスとその関係会社の方々、大東建託川越支社の方々など高校生～80歳代と幅広い年齢層でした。

クリーン活動は、小瀬理事長の挨拶から始まり、このクリーン活動を当初より支えてきた渡辺利衛さんからのごみ収集の仕方やコース説明のあと、5つのコースに分かれてクリーン活動を開始。収集したごみは、やすらぎのさとごみ集積所で分別し解散しました。参加いただきました皆様ありがとうございました。

おわりに

当日の予想最高気温は37℃。熱中症対策のため、集合受付時には冷たい飲料を配り、クリーン活動の時間を予定の1時間半から30分ほどに短縮コース距離を短縮しました。

また、今回のクリーン活動から、コースリーダーを含むスタッフのみがかわご



当初予定のコース（現場で短縮して実施）え環境ネットの緑色の腕章をつけて活動をしました。これにより、これまで全員着用していたゼッケンがなくなったことも、熱中症対策になったと思います。

次回のクリーン活動は、10月7日（土）開催予定です（9:30本川越駅前交番付近集合）。多くの方のご参加お待ちしております。（飯島希）



小瀬理事長の挨拶



ごみ収集の仕方の説明



ごみ収集コーススタート



活動の様子



武州ガスと関連会社の皆様



大東建託の皆様

【報告】社寺林の観察会・キノコの観察会・虫の観察会 (自然環境部会)

社寺林の観察会 (6月17日 9:30-12:00)

参加者：21名

講師：稗島英憲氏、山中和郎氏

喜多院、中院は寺院として古刹で由緒ある立派なものですが、樹木など自然に目を向けると、またすばらしいものがあります。喜多院には歴史を彷彿とさせる樹木があり、中院は「花の寺」といわれるほど多様な花木があります。当日は二つのグループに分かれ、Aグループは喜多院から出発です。ここで有名な木は天海大僧正お手植えといわれるコウヤマキでしょうか。樹齢は300年を超えます。川越では珍しいと言われるアカガシが数本、準絶滅危惧 (NT) で、樹木のRD種は川越ではとても少ないです。

社寺林には仏教に縁のある木、例えばボダイジュ、シキミ等もありますが、ケヤキ、クスノキ、アラカシ、スダジイ等古くから生育してきた大径木もあります。森林性や樹洞を利用するチョウゲンボウ、アオバズクなども生息しており、改めて喜多院の「鎮守の森」のすばらしさを認識しました。

次は中院です。アカマツの変異種である多行松のユニークな樹形と磨かれた幹の赤さに感心しながら歩を進めると、足元に黄色いじゅうたんが拡がります。見上げてみると楽しみにしていたモクゲンジの花が、樹木全体を覆うように咲き、梅雨空の下ひときわ黄色く鮮やかです。この観察会を6月に行うのは、モクゲンジの鮮やかな花を見ていただきたいからです。秋には黒い実ができて数珠に使われるそうで、お寺によく植えてある理由かもしれません。



中院 モクゲンジの花を見上げる

喜多院 アカガシのいねいな説明

キノコの観察会 (7月9日 9:30-12:00)

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

参加者：23名、スタッフ5名

講師：稗島英憲氏、高杉茂氏

「キノコの観察会」は2008年9月21日に第1回が始まりましたので、今年で16回目になります。2010年からは6、7月の梅雨期に開催するようになりました。10回ほど経た2018年にはこれまでの記録を基に「川越のきのこ」の冊子を発行しました。

今年は梅雨期の雨があまりなく、水分のほしいキノコは大変です。下見に行ってもキノコはほとんど出ていません。当日は親子連れの参加が多く、小さなお子さんもみんなで目を皿のようにして探しました。そうすると少しずつ草の下から見つけ始めます。チチタケはきずをつけると乳液が出てきます。「いい匂い、きのこの匂いがする」と見つけた方、これが旨みの成分です。

この林もナラ枯れ被害が進み、茶色の葉になったコナラがけっこうあります。参加者から「カエンダケは出ていますか?」と質問がありましたが、今のところ報告は一件もありません。チリメンタケが、枯れた切り株に群生しています。弱った樹木にキノコが付き、木を徐々に分解していきやがて自然に還します。このようなキノコは腐生菌と呼ばれ、自然界で最終分解者の役目をしています。

ひとしきり、森の中でキノコ探しをして、室内に持ち帰り鑑定です。思いのほか多く集まり40種ほどでした。興味津々の「万太郎少年」のような小学生が講師に次々と質問し、参加者とともにキノコについて理解を深めました。自然界には不思議がいっぱいです。この日はキノコだけでなく植物や虫たちとの出会いもありました。



このキノコ、何ですか?

今日見つけたキノコ

虫の観察会 (8月5日 9:30-12:00)

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

参加者：応募参加者15名、スタッフ8名

講師：佐々木英世氏 (埼玉昆虫談話会)

今年の夏は例年にも増して「異常」が際立っていました。7月に入ってから晴天続きで猛暑日の連続。「虫の観察会」当日も暑く、福島では今季最高の40℃が出ました。このような中での開催でしたが、応募した方が全員出席されました。最初に草原でバッタの仲間をたくさん見つけました。トノサマバッタ、ショウリョウバッタはもう、5cm越えの大きなサイズになっています。その中で2cmくらいの小さなヒナバッタがたくさんいましたが、これは埼玉県準絶滅危惧種です。

次いで、林の中に入るとちょっと気温が下がります。樹林の中では甲虫の仲間が見つかります。カブトムシやクワガタの頭だけになったのがたくさん残されています。どうやらカラスの仕業らしいです。「ぼく、カブトムシ取りに来たんだ。」という男の子はちょっと残念そう。「朝早く来ると取れるよ。」と講師の佐々木さん。女の子がウスバカミキリを捕まえ、この日一番大きな昆虫です。

ちびっ子たちも虫を捕まえては講師、スタッフに問いかけ、親御さんたちも積極的に参加されて、集中力の切れない観察会でした。この日、観察した種は甲虫、カメムシ、チョウ、バッタ、トンボ、ハチ、その他クモ類、トカゲの類など40種ほどでした。ほこりが舞い上がるほど乾燥していて、昨年よりは少なめでした。

(3題とも賀登環 報告)



ナラ枯れの実態を見る 土の中いた虫を調べる

【報告】川越市環境計画見直し意見交換会 (第1回、7月26日開催)

前号で開催予告していた勉強会は「川越市環境計画見直し意見交換会」という名称となり、7月26日(水) 9:30-11:35に川越市役所地階修養室において第1回の会合を開催し、今後の進め方やスケジュールを検討しました。川越市で

は今年度「川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の見直し、令和7年度(2025年度)が目標年度の「川越市環境基本計画」「川越市環境行動計画」、関連する「川越市緑の基本計画」の見直しが今後行われます。これらの

計画の見直しに際して意見をまとめていきます。今後の開催も対面で行うことにしました(6ページ参照)。記録は<http://wiki.kawagoekankyo.net>に掲載します。(小瀬博之)



【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (25) いのちと環境～7代先を考えて～

今年は7月のニュースで「気温 50℃ 超え」や「自然発火の山火事」、各地の「洪水」の悲惨な映像が映し出されている。国内では各地で連日気温が 40℃ 近くになっていると。熱中症予防の呼び掛けに「適切な行動をとってください」と加えているが、以前お元気な環境の仲間から熱中症予防の放送が入ると「ついエアコンのスイッチを押してしまう…」と。最近では「予防にエアコンを使っているが、いつ消していいのか分からない」と言う方たちに出会う。

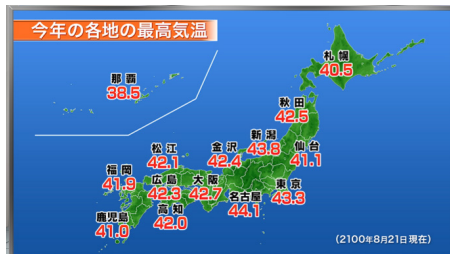
ずいぶん前、倉本聡さんは講演会の中「灼熱化だ！温暖化なんて生ぬるい!!」と。「このまま温暖化が進むと日本では春と秋が消える。どう思う？ どうする？」と問いかけていたネットワーク『地球村』代表高木善之氏。環境省ではどんな予測を公表しているのでしょうか (IPCC 第 5 次評価報告書を踏まえた予測。IPCC 第 6 次評価報告書での予測はより増加か)。

日本の真夏日の日数はどうなるの？

東日本太平洋側 (東京) の真夏日は、

105 日。2014 年、環境省から「2100 年末における真夏日 (最高気温 30℃ 以上) の年間日数予測」として発表。

このままだと 2100 年の日本は…



環境省：「2100 年 未来の天気予報」(新作版)の公開について (<https://www.env.go.jp/press/107008.html>, 2019.7.8) より

東京の最高気温は 43.3℃、熊谷は最高気温が 44.9℃と予測。これは IPCC 第 5 次評価報告書をふまえ、環境省と気象庁の科学的予測 (現状を上回る温暖化対策をとらなかった場合)。

エアコン使用を工夫するなり、その他でエネルギー使用量を減らす必要が

あるようです。“病気になるない、病気になっても自分の力で治す身体(體)づくり” 自然にあった生活をしていればこれほどの問題は起きなかった。確かに。

昭和 20 年前後の生活 - 昭和 30 年頃を境に -

昭和 30 年代より前は、自然にあった生活をしてきた。昭和 30 年を境目にして、急激な生活形態を変えてしまった。どんな変化でしょう。

- ・自宅分娩 (母乳栄養、母子同室、暖身・冷身) ⇒ 病院分娩 (人工栄養、新生児室、暖房・冷房) ※厚生労働省研究班、2010 年 10 月ミルクアレルギーの赤ちゃん増加の原因発表 (最近「ミルクアレルギーの子多くって!!」と助産師)。

- ・布おむつ ⇒ 石油 (紙) おむつ
- ・食は 3 ~ 4 里 (1 里 = 4km) 以内の物を食すれば病せず。旬の生き物を腐る前に食べる → 輸入食品、温室栽培、添加物などやカタカナの食べ物に。

電気製品に囲まれたり、電気使用の多い家は…。この続きは環境サロン (本誌 7 ページに開催予告あり) で。

いのち大切に。 (松岡壽賀子)

【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (11) 時の草 ヤマトグサとの出会い

ヤマトグサ

ヤマトグサという植物名は朝ドラ「らんまん」で有名になりました。しかしこの植物と出会った人は少なく、周辺からも今まではその名を聞いたことはありませんでした。それはハコベやタンポポのようにどこにでもある植物ではなく、分布が隔離的で希産種だからでしょう。さらにこの花は風媒花のため、花卉がなく目立たない地味なもので、気付く人が少ないのかも知れません。

佐渡でのヤマトグサとの出会い

偶然でした。この 4 月その珍しいヤマトグサに出会ったのです。佐渡の花を見に植物好きの仲間 8 人と出かけました。佐渡は花が多いことで知られていますが、めったに見られないシラネアオイやユキワリソウ、サンカヨウ、ウスバサイシンなど山の花が佐渡には普通に咲きます。中でもアオネバ溪谷は山野草の好きなハイカーには人気のコースです。私たちもそこをめざしました。登山口に車を止め、足を踏み入れますが狙いの花はもっと奥にあります。心をそ

ちらに向けて歩き始めたその時でした。道端の草むらの様子がなぜか輝いて見えたのです。足元には柔らかい草が広がっていて、葉を見るとハコベに見えました。と、その瞬間でした。違うぞ？ 揺れ動くものが見えたからです。輝いていたのはそれだったのか、足が止まった次の瞬間でした…

「あっ、あれだ、ヤマトグサ！」そばにいた K さんも声を上げる。でも半信半疑。初めて見る草、輝いている！…房状の花が見えた、これだ、間違いない！周囲も騒然、ウロウロ！そして納得の声、変わった花だね！… 気がつくともどりはヤマトグサの大群落でした。前触れもないとっさの“お出まし”に狂喜した私たちでしたが、慌しかった時間も収まり、うれしい喜びと変わっていました。ヤマトグサはすくと伸びて 20cm ぐらい、その茎 3 ~ 4 か所に節があり、そこに葉と下垂する雄花を付けていました。

アオネバ溪谷の登山口で出会ったヤマトグサではありますが、ずっと昔からそこに棲み続けていたはずで、地元

はその存在を知る人は多いと思います。たまたま訪れた私たちは何も知らずに踏み込んで、勝手に大発見したと驚いたのですが、私たちにとっては話題のヤマトグサでもあり、そのころは 4 月でしたので知る人も少なかったこともあり興奮度は高まったのでした。いまでは天からの大きなプレゼントだったと思っています。

牧野富太郎が学名を発表

ちなみにヤマトグサは日本において 1884 年牧野富太郎博士が日本人として初めて日本の植物の学名を発表した植物です (*Theligonum japonica* Okubo et Makino)。

(稗島英憲)



4 月 25 日に対面したヤマトグサ

【参加者募集】「川越まつり会場事前クリーン活動」10月7日(土曜日)実施



川越まつり会場
事前クリーン活動
参加者募集

開催日 2023年10月7日(土)
本川越駅 交番前に9時30分集合

9:30 本川越駅交番前に集合
各1人1枚ゴミ袋を持って回る
11:15 中央公民館で分別作業・解散

活動範囲
観音堂境内の主要道路を回ります

2022年 本川越駅交番前 集合写真

一帯(蔵造り)で活動

申込先 かわごえ環境ネット
9月1日(金) 午前10時から
お電話で電話受付開始 ☎ 049-224-5866
受付時間 受付 9:30 ~ 5:30(土) 2023
mail kikums@beige.ocn.ne.jp

SUSTAINABLE GOALS

主催 かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課 ☎ 049-224-5866

第8回秋のクリーン活動は、川越まつり会場事前クリーン活動として開催いたします。

川越まつりは、10月14日、15日に開催されますが、クリーン活動は祭り開催に先立ち実施し、「美しいお祭り会場」をめざします。

ご参加のほどよろしくお願いたします。

活動の概要

活動時間 10月7日(土) 9:30-11:15

集合 9:30 本川越駅交番付近

活動場所 本川越駅より、お祭りの軒揃いが取り付けられた蔵造りの街並み

や周辺を中心とした、川越まつり会場のクリーン活動を行い、中央公民館で集めたごみを分別し解散いたします。

申込先

菊地 携帯 080-5546-2362、

E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

その他

軍手とクリーン活動用の用具を用意しております。

今後の予定

「冬の川越 中心市街地 歳末まち美化活動」は12月24日(日)を予定しています。

【参加者募集】「2023 森フェス in 川越」(11月18日開催) 10月3日受付開始



2023
森フェス
in 川越

11月18日(土) 9:00 ~ 13:00

場所：(仮称)川越市森林公園計画地 事前申込制
[雨天時 翌日順延]

参加費：大人700円、子ども300円、未就学児無料
※未就学児は保護者同伴で参加

集合：川越南文化会館(ジョイフル)横 森のさんぽ道入口
〒350-1151 徒歩：月間平均1295歩 2.6km 徒歩約15分

イベントアクティビティ

申し込み 申込先 かわごえ環境ネット
電話受付時間 9月1日(金) 午前10時から
お電話で電話受付開始 ☎ 049-224-5866
受付時間 受付 9:30 ~ 5:30(土) 2023
mail kikums@beige.ocn.ne.jp

昨年に続き、(仮称)川越市森林公園計画地にて、川越の貴重な森の自然を楽しむイベント「2023 森フェス in 川越」を開催します。

開催概要(事前申込制)

日時：11月18日(土) 9:00-13:00

(雨天時翌日順延)

場所：(仮称)川越市森林公園計画地

参加費：大人700円、子ども(小中学生)

300円、未就学児無料

※支払いは当日現金で受付

集合：川越南文化会館(ジョイフル)横

森のさんぽ道入口

イベントアクティビティ：ネイチャーゲーム/木工ワークショップ/布絵本の読み聞かせ会など

申込：10月3日(火) 10:00 から受付開始

申込・問い合わせ先

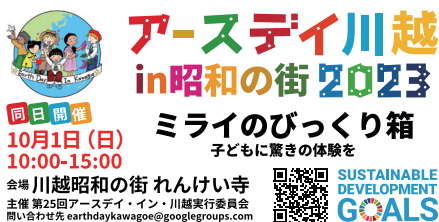
かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)

Tel. 049-224-5866

E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp

主催：かわごえ環境ネット

【後援・出展】「ミライのびっくり箱」アースデイ川越 in 昭和の街2023(10月1日開催)



アースデイ川越
in 昭和の街2023
ミライのびっくり箱
子どもに驚きの体験を

同日開催
10月1日(日)
10:00-15:00

会場 川越昭和の街れんげい寺
主催 第25回アースデイ・イン・川越実行委員会
問い合わせ先 earthdaykawagoe@googlegroups.com

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

出展者：タイトル(予定、50音順)

- ①大宮国際中等教育学校 探究プロジェクトチーム：リサイクルおもちゃ作りに挑戦しよう!
- ②帯バッグ/帯ベルトの小梅や：キモノを着られるようになろう!~お洋服の上からでOK~
- ③かわごえ環境ネット：『森を守る活動を知ろう!「2023 森フェス in 川越」体験~丸太切り&ドングリアート』
- ④川越子ども応援パントリー：フードパントリーで考えるSDGs
- ⑤NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ：環境にやさしいおコマやマコモ品の販売と鶴・亀づくり等ワークショップ
- ⑥川越女子高校音楽部による合唱
- ⑦川越ワイズメンズクラブ：古書再読、高齢者疑似体験
- ⑧KOEDO 川越寺ピアノ：おんがく寺子屋
- ⑨埼玉県水環境課：埼玉県生き物(魚類)調査について
- ⑩埼玉 YMCA：みんなで楽

しくカラダを動かそう!バスケットゴールチャレンジ!、⑪芝浦工業大学×中央公民館：川越 SDGs すどころ、⑫生活クラブ川越支部：環境家計簿で家族ではじめるSDGs /こねこね石鹸作り/安心安全の消費財の試食、⑬東洋大学地域活性化研究所×仙波書房：親子で楽しむ「昭和の街ウォークラリー」、⑭株式会社ニソール：世界に1つだけの my コンポストを作ろう!、⑮パイオニア株式会社：紙スピーカー作り ボディソニック体験、⑯ミュオグラフィアート さいたま拠点：ミュオグラフィ、ミュオグラフィアートとは、なに??

プログラム等の詳細(Web掲載)



アースデイ川越 in 昭和の街
(http://showanomachi.net/earthday)

報告

理事会・事業運営委員会

7月19日(水) 事業運営委員会・理事会

①「2023 森フェス in 川越」の実施日・企画の検討、②「第22回かわごえ環境フォーラム」の実施日・開催方法の検討、「環境活動報告集」の募集・応募日程の検討、③「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」への出展、会場での「森フェス」の周知、④「川越市環境計画見直し意見交換会」の実施方法の検討。8月は休会 (理事長 小瀬博之)

社会環境部会

7月14日(金) 13:30-14:30 に市役所7E会議室で社会環境部会例会を開催。参加者は6名。8月は休会。

報告事項

かすみがせききた環境対話カフェ第1回、第2回の報告

協議事項

①夏の郊外クリーン活動の事前準備の確認、②環境講演会の実施有無につい

て検討、③今後のクリーン活動の体制について検討

(社会環境部会代表 増田知久)

自然環境部会

7月例会は14日(金) 9名参加、市役所7E会議室にて開催された。8月例会は休会。

1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地 定例活動 6月12日3名参加(雨の中)・26日19名参加(生き物調査関連でこの日は昆虫調査 講師:佐々木英世氏、7月10日17名参加・7月24日17名参加 両日とも第2武蔵野ふれあいの森の草刈り、枯損木も伐倒しすっきりとした(写真)、②池辺公園定例活動 6月13日8名参加 植物調査入間川左岸生き



7/24 手刈り作業



7/24 枯損木伐倒

物調査、8月8日8名参加 キツネノカミソリの開花数調査、③「社寺林の観察会」6月17日(土) 21名参加 喜多院・中院、④生き物調査 7月7日(金) 安比奈親水公園 9:30-12:00 8名参加、⑤「田んぼの生き物調査」7月1日(土) 9:30-13:00 参加者29名「かわごえ里山イニシアチブ」田んぼ(川越市福田)、⑥「キノコの観察会」7月9日(日) 9:30-12:00 24名参加「(仮称)川越市森林公園」計画地、⑦「虫の観察会」8月5日(土) 9:30-12:00 15名参加「(仮称)川越市森林公園」計画地(③⑤⑥⑦は別ページ参照)、⑧ナラ枯れの状況について「(仮称)川越市森林公園」計画地において、感染木、枯木が増えており景観が一変している

2. 協議事項

次期環境基本計画見直しについて、大まかな意見交換。イベント、観察会などの担当者を調整

(自然環境部会代表 賀登環)

予告・募集

会合

- 社会環境部会(第2金曜日) ① 9月8日・② 10月13日(金) 13:30-14:30
- 自然環境部会(第2金曜日) ① 9月8日・② 10月13日(金) 14:30-16:00
- ◆事業運営委員会 ③ 9月13日・④ 10月18日(水) 9:00-10:00
- ◆理事会 ③ 9月13日・④ 10月18日(水) 10:00-11:30
- ◆広報委員会 ③ 9月13日(水) 11:30-12:00・⑤ 10月4日(水) 9:00-9:30
- ★川越市環境計画見直し意見交換会 ⑥ 9月27日(水) 9:30-11:30、議題:①環境基本計画及び緑の基本計画の目標・構成・重点課題について意見交換と改善策の提案、⑦ 10月25日(水) 9:30-11:30、議題:①の意見内容確認
会場:①④川越市役所7階7E会議室(川越市元町1-3-1)、②オーク2H₂(川越市郭町1-2-2、福田ビル隣)、③⑥川越市役所7階7D会議室、⑤オンライン(URLは委員に別途案内)、⑦未定(決定次第ホームページに掲載)、*①②は会員が、⑥⑦はどなたでも参加できます。

自然環境部会の活動

- ★A「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日) 9月11・25日、10月9・23日(月) 9:30-12:30 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)
- ★B池辺公園定例活動(毎月第2火曜日) 9月12日、10月10日(火) 9:30-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302) A Bの問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)
- ★C小畔川魚とり遊び 9月23日(土) 9:30-12:00、場所:かほく運動公園(川越市霞ヶ関北6-28-2) 周辺、募集25名、参加費200円、共催:小畔川の自然を考える会
- ★D川越水上公園の生き物観察会 9月30日(土) 9:30-12:00、場所:川越水上公園(川越市池辺880)、募集20名、講師:佐々木英世氏、共催:川越市 申込先: Cは9月4日(月) 10:00から、Dは9月1日(金) 10:00から電話で環境政策課(Tel.049-224-5866)

広報委員会

- 2023年11・12月号(No.194, 11月1日発行) 投稿募集(会員対象)
- 提出期限:10月8日(日)
- 提出方法:原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

「環境活動報告集」投稿募集

- 2月24日(土)開催の「第22回かわごえ環境フォーラム」に先立ち、「かわごえ環境活動報告集」の投稿を募集。投稿・発表申込は12月11日(月)、レポート投稿は1月15日(月)が期限。ホームページ及び次号で詳細。



NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

近況報告

7月1日、田んぼの生きものソムリエ林鷹央講師のもと田んぼの生きもの調査をかわごえ環境ネットとの共催で行いました。これまで30点前後でしたが、今回初の40点を獲得し確実に田んぼの環境が向上していることが読み取れます。



田んぼでの調査風景 調査後の集合写真

予告

10月1日(日) アースデイ川越 in 昭和の街に出展します。無農薬米、マコモ品の販売の他、マコモ葉で鶴、亀、へびなどの工芸品を制作します。

Facebook <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

HP <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

福原ファームクラブ

横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

予告

◎**おいしく・楽しく農業体験** 場所: 明見院(川越市今福677) 近く、会費: 一家族1,000円(年間)、**1** 9月9日(土) 9:30-12:30 ごろ モロヘイヤの片付け等、**2** 10月14日(土) 9:30-12:30 ごろ 畑のビニールはがし等

川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

7月12日(水)は「リョウブの森」のヒサカキ、シラカシなどの照葉樹をかなり片づけ、枯損木も10本ほど処理しました。



今回はフルメンバーに近いパワーで

予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地「リョウブの森」の手入れ 9月13日(水)

8:30-12:00「リョウブの森」の手入れの続き。集合:川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていないエリアを動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを行っています。奇数月の第2水曜日が活動日です。

小畔川の自然を考える会

賀登環 (Tel.049-234-9366)

報告

7月16日(日)に今年第2回目の魚類調査調査をかほく運動公園向かいの親水ゾーンで行いました。気温が32℃、水温は29.5℃のこれまでにない高さです。オイカワ、コクチバスなどがかかりました。明るる17日(月・祝日)は川越女子高校生物部の生徒さん8人と松田先生が魚類調査されるのをサポートしました。生物部はエビ類の研究をしているとのことで、今回はヌカエビ、スジエビなどを標本に持ち帰りました。



7/17 ガサガサで魚類調査 7/17 40cmのヘラブナを見つめる

予告

◎**八幡橋(川越市小堤)下流の魚類調査** 10月15日(日) 9:30-12:00

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

報告

6月24日(土)に「チェンソー・刈払機安全講習会」、7月22日(土)「ロープ牽引システムを使った手鋸とチェンソーによる安全伐倒講座」を実施しました。



6/24 チェンソーの構造 7/22 ロープワーク

予告

◎**里山林保全活動** **1** 9月30日・**2** 10月21日(土) 8:30-16:00、場所: 東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)、

6-8 ページの記号凡例

★: 本会主催・後援等一般公開行事 ●: 本会会員対象行事 ◆: 本会理事・委員対象会合 ◎: 本会会員等主催のイベント等 ○: その他(個別記事参照)

定員: 15名(高校生以上、事前予約必要)、作業: 枯損木の伐倒、林床の下刈り、希少植物の保護など。詳細はこもれび隊ホームページをご覧ください。

◎**こもれび祭「里山体験と木工教室」** 11月4日(土)・11月5日(日) 10:00-16:00、場所: 東洋大学川越キャンパス、入場自由、お子さまから楽しめます。
祭 HP <https://www.komorebi-fes.com>
こもれび隊 HP <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯
電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

予告

◎**伊佐沼でバードウォッチング**(毎月第2日曜日) 集合: 10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止、持ち物: 筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物、参加費: 一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

1 9月10日(日) 10:10-12:00 シギ、チドリ
の渡りが見られます。この時期だけ伊佐沼に飛来する鳥を観察します。

2 10月8日(日) 10:10-12:00 サギの群れ、シギ、チドリと今年も渡ってきたカモを観察します。

個人会員からのお知らせ

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

予告

◎**かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」** 会場: 高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース、参加費: 無料。持ち物: 直近2~3か月分の電気料金票。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話ししています。個々の取組が減災・防災につながります。

1 9月13日(水) 10:00-11:30「日差しの活用術」ソーラークッカーやソーラーボトルを使用して、電気・ガスの使用量の節約に挑戦、**2** 10月20日(金) 10:00-11:30「電気・ガスの使用量を減らすには」寒くなる前にこそ、健康面から考えて寒さ対策の準備

2023年9月

| |
|--|
| 1 金 ○ 10:00 「川越水上公園の生き物観察会」「川越まつり会場事前クリーン活動」参加受付開始 |
| 2 土 |
| 3 日 |
| 4 月 ○ 10:00 「小畔川魚とり遊び」参加受付開始 |
| 5 火 |
| 6 水 |
| 7 木 |
| 8 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会 |
| 9 土 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験 |
| 10 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング |
| 11 月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 |
| 12 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動 |
| 13 水 ◎ 8:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地「リョウブの森」の手入れ ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」 ◆ 11:30 広報委員会 |
| 14 木 |
| 15 金 |
| 16 土 |
| 17 日 |
| 18 月 敬老の日 |
| 19 火 |
| 20 水 |
| 21 木 |
| 22 金 |
| 23 土 秋分の日 ★ 9:30 小畔川魚とり遊び (要申込) |
| 24 日 |
| 25 月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 |
| 26 火 |
| 27 水 ★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会 |
| 28 木 |
| 29 金 |
| 30 土 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ★ 9:30 川越水上公園の生き物観察会 (要申込) |

2023年10月

| |
|--|
| 1 日 ★ 10:00 アースデイ川越 in 昭和の街 2023 |
| 2 月 |
| 3 火 ○ 10:00 「2023 森フェス in 川越」参加受付開始 |
| 4 水 ◆ 9:00 広報委員会 |
| 5 木 |
| 6 金 |
| 7 土 ★ 9:30 川越まつり会場事前クリーン活動 |
| 8 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング ○ 本紙 2023年11・12月号 (No.194) 原稿投稿期限 |
| 9 月 スポーツの日 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 |
| 10 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動 |
| 11 水 |
| 12 木 |
| 13 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会 |
| 14 土 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験 |
| 15 日 ◎ 9:30 八幡橋下流の魚類調査 |
| 16 月 |
| 17 火 |
| 18 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 |
| 19 木 |
| 20 金 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」 |
| 21 土 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 |
| 22 日 |
| 23 月 ★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 |
| 24 火 |
| 25 水 ★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会 |
| 26 木 |
| 27 金 |
| 28 土 |
| 29 日 |
| 30 月 |
| 31 火 |

かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、個人会員、団体会員を随時募集しています。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。

会員特典

- 1 本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・電子メールでお届け、
- 2 本紙及び本会インターネットへの記事の掲載、チラシの同封、
- 3 本会主催の事業への優先参加、
- 4 総会、専門委員会活動への参加

詳細

かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)に問い合わせるか Web サイト (<https://kawagoekankyo.net>) をご覧ください。



入会案内

インターネットアクセス (QR コード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



Instagram



YouTube



note

おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。